

第4回 五條市デジタル交通サービス導入推進協議会 議事録

1. 会議議事

- 日時：2024年2月29日
- 場所：書面による開催

2. 議事録

(1) 五條市におけるデジタル交通サービスの今後の取組方針について

- ・全会一致で五條市におけるデジタル交通サービスの今後の取組方針（案）が承認された。

(2) 今後の取組方針に関するご意見

■ 油谷委員（奈良県タクシー協会五條支部 支部長）

- ・小さなデジタル活用で交通サービスが生まれる仕組みとして、外出したいときに2～3名様以上での乗車をお願いする相乗りマッチング乗車を促す携帯アプリ等のシステム開発を検討してみてはどうだろうか。
- 利用者に対しては、相乗りのマッチング結果とお迎え・乗車時間の案内、ドライバーへはAIを活用し回送可否の判断・回送開始時間を案内する。

→（事務局）

ご意見も踏まえ、AI オンデマンド交通等デジタル技術を活用した先進事例についても継続的に注視して参ります。

■ 中野委員（東京大学 教授）

- ・カートによる自動運転の実装は永平寺町一例のみであり、実現の可能性には不確かなところが多く、コストに見合う便益が得られない可能性が高い。オンデマンドタクシーなど、導入実績のあるモビリティサービスを実装する方が、実効性は高いと思われる。

■ 中谷オブザーバ（五條市西吉野支所 地域市民課長）

- ・西吉野コースの利用者は、年々減少し、本年度もコロナ禍前の4割程度の見込み。高齢化と共に、利用者も地域によって偏りがみられる。運行車両も平成17年12月登録の車両で、更新には多額の経費が必要と見込まれることから、これからの運行について、既存の乗合タクシー路線や大塔町の運行と共に、再編が必要ではないか。

→（事務局）

ご意見も踏まえ、西吉野地区のコミュニティバスの運行・再編等について五條市において検討するものとします。

以上